

2022年度 アプローチカリキュラム

大宮すこやか保育園

こどもの姿	期		3期(10月～12月)	4期(1月～3月)		
<p>就学時健診を控え、小学校への期待が高まっている姿がある。 生活の中で時計を意識し、見通しを持ちながら過ごしたり、壁に掲示してある文字を読むなど、楽しみながら生活に必要な知識を身につけようとしている。</p>	行事	<p>運動会、クリスマス会、サッカー教室(5月実施)、誕生会、身体測定、避難訓練</p>		<p>節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、誕生会 身体測定、避難訓練、お別れ遠足</p>		
		向 計 画 に 就 学 の	<p>・小学校周辺への散歩 ・就学時健診 ・小学校体験研修(担任保育士)</p>		<p>・小学校周辺への散歩 ・1年生クラス授業参観(感染状況による)</p>	
		ね ら い	<p>・友達と共通の目的をもち、協力して活動に取り組み、満足感や達成感を味わう。 ・友だちと意見を出し合い、イメージを膨らませながら遊びを展開する。</p>		<p>・就学への期待や不安を保育者に認められながら、自信や自覚をもって充実した生活を送る。 ・友だちと互いのよさを認め合い、遊びや生活を進める楽しさを味わう。</p>	
3つのめばえ	養 護	生 命 情 緒	<p>・天候や気候に応じて自分で衣服を調節しながら生活する。 ・けがをした時の処置、体調が優れない場合にはどうしたらよいかを考え、保育者に伝え共に行動する。 ・活動を通して友だちとのつながりが深まる中、安心して自己を発揮する。 ・思いに共感してもらい、励まされながら、安心して自己を表現し、楽しく過ごす。</p>			
生活			教 育	健 康 言 葉 人 間 関 係 表 現 環 境	<p>・成長を認められ、就学への喜びや期待を膨らませ、意欲的に生活する。 ・冬の健康的な生活習慣を身につけ、自信をもって生活する。 ・自分の思いを保育者に話すことで落ち着いて生活する。</p>	
<p>・健康で安全な生活をする ・自分の事は自分でする ・物を大切に</p>	健 康 言 葉 人 間 関 係 表 現 環 境	<p>・友だちと思いきり体を動かすことを喜び、ルールを守って遊ぶ。 ・風邪や感染症の予防を意識し、手洗いうがいを自ら進んで行う。 ・遊びを通して、共通の目的や課題をもち、友だちと役割を分担しながら取り組む。 ・新しいことに挑戦する楽しさを知り、何事も積極的に取り組む。 ・秋から冬への移り変わりに気づき、自然現象や身近な植物の変化に興味を持つ。 ・自然物を使って、自由に製作を楽しむ。 ・季節の歌を歌ったり、踊ったりして音楽に親しむ。 ・自信をもって自分の意見を発言することができ、友だちの言葉にも耳を傾ける。 ・文字・数・時間に興味や関心をもち、理解を深める。</p>				
他者との関係		健 康 言 葉 人 間 関 係 表 現 環 境			<p>・冬に必要な生活習慣を身に付け、健康に過ごす。 ・寒さに負けず、友だちと積極的に体を動かしたり、ルールのある遊びを楽しんだりする。 ・友だちとの関わりの中で、良い事、悪い事を自分で判断して行動する ・一緒に過ごした友だちに対し、感謝の気持ちを持つ。又、異年齢児との交流を通じ いたわりや思いやりの気持ちを持つ。 ・冬の身近な自然に興味を持って遊び、動植物の様子から春の訪れを感じる。 ・雪や霧柱など、冬の自然に触れて遊び 興味や関心を持つ。 ・日常生活に必要な言葉をその場に応じて適切に使う。 ・歌詞の意味を知り、気持ちを込めて歌う楽しさを味わう。 ・遊びや当番活動を通して、互いに考えを出し合ったり自分で決まりを 作ったりするなど創意工夫して遊ぶことを楽しむ。 ・みんなで1つのことをやり遂げる達成感を味わう。</p>	
<p>・人と関わる力を身につける ・言葉で伝え合う ・きまりや約束を守る</p>					環 境 構 成 と 配 慮	<p>・子どもが十分に考えを出し合ったり、話し合ったりできる時間や場を確保し、 友だちと一緒に取り組もうとする姿を認め、楽しさや満足感を味わえるようにする。 ・子どもの思いを温かく受容し、安心して自己発揮できるようにする。 ・行事ごとに目標を作り、それを掲げながら意欲的に取り組めるようにする。</p>
10の姿			支 援 者 保 護 者	<p>・朝夕の気温差があるので、調節しやすい衣服を用意してもらう。 ・運動会等で力いっぱい取り組んでいる姿や成長した姿を互いに伝え、喜び合う。 ・感染症の流行の状況を伝え、手洗い、うがいを家庭でも行ってもらう。 ・日頃の保育での取り組みや、子ども達の頑張りを伝え、家庭での話題にしたり継続して取り組めるよう連携していく。</p>		
<p>ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協働性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会活動の関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現</p>	食 育			<p>・食後は、自分のテーブルを確認し、汚れていたら台ふきんで拭き、きれいにする。 ・保育者と一緒にエプロン、三角巾を身に付けて給食の配膳を進んで行う。 ・食材に触れ、調理体験をすることで、食への興味を深める。 (感染状況による)</p>		